

2026 年 第 71 回 神子元島レース

関東トラディショナルシリーズ(KTS) 第 3 戦

帆走指示書 (Sailing Instructions)

(2026 年 9 月 16 日)

【開催日】 2026 年 9 月 26 日 (土) ～ 27 日 (日)

【開催地】 相模湾および神子元島周辺

【主 催】 (公財) 日本セーリング連盟 加盟団体 JSAF 外洋三崎

【運 営】 第 71 回 神子元島レース実行委員会

本帆走指示書 (Sailing Instructions : SI) の略語表記の意味

[NP] : この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1 を変更している。

[DP] : その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。RRS 第 2 章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[SP] : レース委員会またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会またはテクニカル委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは RRS A5、A10 を変更している

1 適用規則

1-1 セーリング競技規則 2025-2028 (RRS) に定義された規則。但し、以下のように変更する。

- (1) 日没から日の出まで、RRS 第 2 章の規定に代えて、海上衝突予防法および国内法規を適用する。
公式の日没および日の出時刻は、本 SI に記載する。
- (2) 視界不良時は、RRS 2 章に置き換え RRS 付則 RV 視界不良時における競技規則を適用する。
- (3) RRS20.4 に基づき、艇はタックするルームが必要であること、また声かけに応じることを示す代替手段として、腕信号、視界不良時には光による信号、音響信号、VHF 無線通信を用いること。
- (4) すべての参加艇に自動操舵装置(オートヘルム)の使用を認める。ただし、ナビゲーション・システムと連動させてはならない。また、すべての参加艇にパワーウィンチの使用を認める。
これは、RRS52 および IRC15.2(b)(c)(d)、ORC204(e)を変更している。

1.2 ORC Rating Systems2026 が適用されるが、以下を変更する。

- (1) ORC Rule 201.2 を変更し、搭載する飲料物、燃料の量を制限しない。
- (2) ORC Rule 206.1 を変更し、例外的に、セールが重大な損傷を受けたり損失したりした場合、そのメインセールは同様のセールと交換することができる。尚、搭載できるメインセールの枚数は変更しない。
- (3) 最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。

- 1.3 IRC 規則 2026 Part A,B および C と日本セーリング連盟 IRC 規程を適用されるが、以下を除く。
IRC 規則 22.4.2 は、レース中乗艇する乗員の最大合計重量(kg)は証書記載の乗員数×85kg を超えてはならない。乗員数の制限はない。
但し、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
- 1.4 JSAF 外洋特別規定 2026-2027 モノハル・カテゴリー3 および OSR 国内規定。
注：RRS56.3 により、OSR3.29.13 で規定されている AIS トランスポンダーは、レース中有効に作動させること。

2 帆走指示書の変更

変更は、SI 3 項「選手とのコミュニケーション」に準じて行う。

3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 オンライン公式掲示板
公式掲示板(WEB) : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/2026/index.html#miko>
- 3.2 レース本部設置場所
所在地 : 三崎マリン 2 階、神奈川県三浦市三崎町小網代 1003-6
期 間 : 2026 年 9 月 26 日(土) 07:30～9 月 27 日(日) 17:30
但し、レースの状況により、設置期間が短くなる場合がある。
- 3.3 連絡先 電話番号 : 090-2341-3140
ファックス番号 : 050-3737-2919
メールアドレス : mikomoto@misaki-ocean.jp
- 3.4 競技者へのレース前通告は 9 月 26 日(土)08:30 までは、公式掲示板(WEB)にて行う。
- 3.5 通告を海上で行う場合は、本部船に L 旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。
- 3.6 レース委員会は、水上では競技者への連絡は、23.無線通信に記載する。

4 [DP] 行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

レース運営に関する信号は陸上のレース本部では発しない。

6 レース日程

- 2026 年 9 月 26 日 (土) 09 時 45 分 : チェックイン締め切り
2026 年 9 月 26 日 (土) 09 時 55 分 : 予告信号
2026 年 9 月 27 日 (日) 15 時 00 分 : タイム・リミット

7 クラス

- 7.1 IRC クラスおよび IRC ダブルハンドクラス
7.2 ORC クラスおよび ORC ダブルハンドクラス
* 参加艇数によっては、各クラスをグループに分けることがある。
* 本レースは、上記 2 つのクラスのダブルエントリーを認める。

8 [DP] [NP] レース旗

- 8.1 IRC クラス、ORC クラスともレース旗は、JSAF レース旗を用いる。
- 8.2 参加艇はチェックインから自艇のレースが終了するまで、JSAF レース旗を掲揚すること。
- 8.3 レース旗の下辺がデッキより 1.5 m 以上の高さになるように掲揚すること。

9 コース

- 9.1 レースコース : 小網代湾口(スタート) ⇒ 相模網代崎沖灯浮標(左に見て) ⇒ 神子元島(左に見て) ⇒ 相模網代崎沖灯浮標(右に見て) ⇒ 小網代湾口(フィニッシュ)
- 9.2 公式距離 : 99 マイル

10 [SP]チェックイン

参加艇は、09:45 までに、L 旗を掲揚した本部船を右側に見て後方から機走もしくは機帆走で通過し、セール番号、乗員数およびライフジャケット着用の確認を受けなければならない。
本規定に違反した艇は、5 分をレース所要時間に加算する。

11 スタート

- 11.1 レースは、以下の追加事項と RRS26 に従ってスタートする。
- 11.2 全艇一斉スタートとする。
- 11.3 レース開始を艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ旗を掲揚する。
- 11.4 予告信号に用いるクラス旗は、JSAF クラブバージとする。
- 11.5 スタート・ライン
スターボード・エンドとなる本部船（外洋三崎大クラブ旗を掲揚）のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポート・エンドとなる黄色円柱型ブイのコース側との間とする。
- 11.6 スタート信号後 20 分後にスタート・ラインは消滅する。
- 11.7 スタート信号後 20 分以内にスタートしなかった艇は、DNS とする。（RRS A4、A5 の変更）

12 [SP]個別リコール

RRS29.1 または 30.1 に関わる規則違反については、レース委員会は OCS に代えて、所要時間に対し 5% のタイムペナルティーを審問なしに適用する。（RRS63.1 及び A.5 の変更）
尚、レース委員会は、X 旗掲揚直後に特定された艇のセール番号を VHF 72ch にて同報する場合がある（RRS 29.1 への追加）、但し、同報により受信できなかったとしても救済の対象とはならない。
これは、RRS 61.1(a)を変更している。

13 フィニッシュ

- 13.1 本部船の青旗を掲揚したポールと黄色円柱型ブイのコース側との間とする。
- 13.2 フィニッシュマークは黄色円筒形ブイとする。
夜間自動点灯型のストロボライトを装着する。但し、消灯していたとしても救済の対象とはならない。
- 13.3 フィニッシュ後の注意点、本部船の南側白枠のエリアに黄色ブイ多数およびいかだがあり、航行禁止とします。
本部船の極めて近くには回り込む水面を確保しますが、風向き、アンカーラインを考慮して接近を願います。

13.4 日没後のフィニッシュ手順(推奨)

- ① 相模網代崎沖灯浮標(右に見て)回航後本部船に国際 VHF72ch にてセール番と艇名の連絡。
- ② フィニッシュ直前に自艇のメインセイルをライトで照射。

<フィニッシュエリア参考図>



14 ペナルティー方式

- 14.1 RRS44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。
- 14.2 裁量ペナルティーについては、ワールドセーリングの指標に基づいて対応する。
- 14.3 規則違反を起こした艇に対して、プロテスト委員会は失格に代わる罰則（裁量ペナルティー）を適用することができる。裁量ペナルティーは、得点ペナルティーとタイムペナルティーとする。（RRS 44.3 (c), 63.1, A5 及び外洋レース規則 2009 第 7 条の変更）。得点ペナルティーは DNF に対する得点の 20%の整数（小数点以下第 1 位を四捨五入）とし、DNF より悪い得点としない。
- 14.4 その他、レース公示、帆走指示書に記載のない内容の違反についても、プロテスト委員会は、その裁量によりそのペナルティーを失格より軽減することが出来る。この場合も、ワールドセーリングの指標に基づき対応する。

15 タイム・リミット

- 15.1 タイム・リミット時刻：9月27日（日）15:00 とする。
- 15.2 タイム・リミットまでにフィニッシュできなかった艇は、DNF と記録される。（RRS 35、A4、A5 の変更）

16 審問要求

- 16.1 抗議は、RRS60 に従うとともに、フィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船に告げ、自艇のフィニッシュ後 2 時間以内に審問要求書をレース本部にメールにて提出しなければならない。（レース本部へ持参提出を認める。）
リタイア艇はリタイア後 2 時間以内に審問要求書をレース本部にメールにて提出しなければならない。（レース本部へ持参提出を認める。）
尚、プロテスト委員会は、もっともな理由がある場合には、その時刻を延長する場合もある。

- 16.2 救済の要求は、所定の抗議書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後 2 時間以内にレース本部にメールにて提出しなければならない。(レース本部へ持参提出を認める。)
リタイア艇はリタイア後 2 時間以内に審問要求書をレース本部にメールにて提出しなければならない。
(レース本部へ持参提出を認める。)
尚プロテスト委員会は、もっともな理由がある場合には、その時刻を延長する場合もある。
- 16.3 審問要求書は、公式掲示板(WEB)から入手できる。
公式掲示板(WEB) : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/2026/index.html#miko>
- 16.4 審問の開始時刻、場所は公式掲示板(WEB)に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する
場合がある。
- 16.5 RRS41 および RRS55 は艇からの抗議、救済の要求の根拠にはならない。
(RRS 60.1、61.1(a)の変更)

17 得点

- 17.1 IRC クラスおよび IRC ダブルハンドクラス
TCC によるタイムオンタイムにより計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、TCC の数値が小さい艇を上位とする。
- 17.2 ORC クラスおよび ORC ダブルハンドクラス
パフォーマンス・カーブ・スコアリング (Coastal/LongDistance(JPN)) により計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、APH の数値が大きい艇を上位とする。
- 17.3 KTS 得点
別途公開される関東トラディショナルシリーズ(KTS) 順位算定基準に従う。

18 レースの成立

各クラスともに、1 艇以上のタイム・リミット内フィニッシュをもって、レース成立とする。

19 レースの中止

- 19.1 悪天候や感染症拡大防止策などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レースの中止は
レース前日の 9 月 25 日(金)18:00 までにレース委員会が決定し、本 SI 3 項に準じて通告する。
- 19.2 スタート海面で中止を決定する状況が生じた場合は、本部船に N 旗と A 旗を掲揚し音響 3 声を発する。
- 19.3 天候等によりクラス別に中止する場合がある。

20 日没、日の出の公式時刻

日没時刻 : 9 月 26 日(土) 17:30
日の出時刻 : 9 月 27 日(日) 05:40

21 出艇申告の変更 (乗員の変更)

- 21.1 乗員の変更は、原則として、9 月 26 日(土) 08:00 までに書面をレース本部に、メールで提出すること。
- 21.2 前項が困難な場合には、9 月 26 日(土)07:30-08:00 の間、レース本部の電話でも受け付ける。
但し、この場合はチェックイン時に出艇申告書の変更 (乗員の変更) を書面にて本部船に提出すること。

22 スタートしない場合、リタイアする場合の連絡義務

- 22.1 [DP] スタートしない艇およびリタイアする艇は、レース本部まで直ちに連絡しなければならない。
- 22.2 連絡は必ず艇の責任者もしくは相応の者が行い、艇以外の第三者に伝言を託してはならない。
- 22.3 リタイアした艇は、ホームポートに帰着または最寄りの港に着岸するまで、携帯電話およびVHFを常時通話可能な状態を維持すること。（レース本部より安全の観点から連絡する場合がある）
- 22.4 リタイアした艇は、ホームポートに帰着または最寄りの港に着岸後、速やかにレース本部に電話連絡すること。

23 [SP]無線通信

- 23.1 ロールコールは添付の付則-1「神子元島レース 通信規定」に従い運用すること。
本規定に違反した艇は、1回につき10分をレース所要時間に加算する。
- 23.2 ロールコールの通信手段は、携帯電話を使用する。
電波状況等により携帯電話の接続が出来な場合は、ショートメッセージサービス(SMS)を認める。
- 23.3 通信の制限
レース中の艇は、RRS41に抵触しない限り、いかなる通信の制限は行わない。

24 レース報告書の提出義務

- 24.1 [SP]フィニッシュ艇は、レース報告書に必要事項を記入し、艇長署名の上、フィニッシュ後2時間以内に、本部船への手渡し、またはレース本部へメール提出もしくは直接提出すること。
本規定に違反した艇は、15分をレース所要時間に加算する。
- 24.2 リタイア艇は、レース報告書に必要事項を記入し、艇長署名の上、リタイア後2時間以内に、レース本部にメールで提出しなければならない。レース本部への直接提出もできる。レース報告書は、外洋三崎ホームページより入手できる。

25 賞

- 25.1 各クラスファーストホーム賞と優勝、準優勝、3位
*ファーストホーム賞は違反なく最も早くフィニッシュした艇に与えられる。
- 25.2 クラスを更にグループ分けした場合、総合優勝とグループ毎の優勝、準優勝、3位
- 25.3 ORCダブルハンドクラスおよびIRCダブルハンドクラスそれぞれのファーストホーム賞と優勝、準優勝、3位
*ファーストホーム賞は違反なく最も早くフィニッシュした艇であること。
- 25.4 4艇以上参加の場合3位まで、3艇参加の場合は2位までを表彰とする。

26 表彰式

2026年12月に開催予定の関東外洋四団体忘年会にて表彰を行う予定。
表彰の詳細は、改めて、参加艇連絡責任者に連絡する。

27 安全に関する遵守事項

- 27.1 ほぼ相模湾全域にて使用できる2台以上の携帯電話を搭載し、良好な状態を維持していること。
- 27.2 携帯電話の予備バッテリーまたは艇内の電源から携帯電話のバッテリーを充電出来る装置の搭載。
- 27.3 膨張式ライフジャケット等安全備品については、緊急時に有効に稼働させるため、機能確認を適時行っていること。
- 27.4 全乗員の1/2以上の定員を有する検査有効期限内のライフラフトの搭載（推奨）

28 緊急避難

- 28.1 悪天候を避けるため、傷病人の上陸のため、艇の修理のために、なるべく早い機会にレース委員会に通知した上で、港湾内に進入着岸しても良い。
- 28.2 港湾内等に進入する際、アンカリングや着岸の際にエンジンによる推進力を使用しても良い。
- 28.3 いったん艇から降りた乗員は、その後のレースに参加することはできない。
但し、係船のために一時的に降りたり、傷病人の安全な場所への移動などの補助をした場合を除く。

29 [DP] エンジンの使用

RRS 42.3、あるいは前項の規定に従ってエンジンを使用した場合には、その状況(使用目的、時間、場所等)について、フィニッシュ後にレース委員会に報告しなければならない。

30 装備検査

- 30.1 レース委員会はレース前・レース後の可能な時に、参加艇が諸規定に適合しているか否かをチェックすることがある。
- 30.2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、チェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇または任意に選択した艇に対して、随時にインスペクションを実施することができる。

31 運営に用いる船

- 本部船： Puffin IV、X-302、30feet ヨット、船体色：白色、 外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。
日没から日の出まで、錨泊灯と赤色灯縦 2 つを点灯する。但し、消灯していたとしても救済の対象とはならない。
- 運営船： プリンセス II (油壺 YH)、インフレータブル、船体色：グレー、 外洋三崎クラブ旗を掲揚する。

32 [DP] 支援者船

- 32.1 支援者船の使用については予めレース委員会に申告し、レース委員会より渡されたホワイトのリボンの標識を付けなければならない。
- 32.2 支援者船はレース中の艇を妨害してはならない。

33 緊急搜索要請

諸情報を総合的に勘案し、艇の遭難の可能性が高いとレース本部が判断した場合は、当該艇の緊急連絡先と協議の上、海上保安庁に搜索要請を行う。

緊急時における海上保安庁関係機関の連絡先 TEL：118 番
第三管区海上保安本部 TEL：045-211-1118

34 事故報告

人身、搜索を必要とする落水、および他艇を巻き込む衝突事故などを起こした場合、事故を起こした艇は、速やかにレース委員会に、可能な手段で報告しなければならない。

35 リスク・ステートメント

- 35.1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者・支援者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 35.2 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。
- 35.3 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡による責任を負わない。
- 35.4 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で、十分な耐候性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。
- 35.5 オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよびその他すべての備品を確実に装備し、安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべての乗組員に熟知させておかなければならない。
- 35.6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底させる責任がある。
- 35.7 レース委員会は、不適当と認めた艇、および艇長・乗員の参加を拒否することができる。

36 保険

参加艇は、以下の付保範囲を持つ有効な保険に加入していなければならない。

- ① 賠償責任保険
- ② 必要な人数分の搭乗者傷害保険
- ③ 捜索救助費用保険

37 「スマホでヨットレース」による外部公開

本レースでは「スマホでヨットレース」を利用した外部公開を行ないます。

可能ならば、参加艇はお持ちの通信機器(スマートフォン、タブレット)にアプリをインストールし、必要な設定の上、運用にご協力ください。

「スマホでヨットレース」説明 : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/sumaho/index.html>

38 問い合わせ

37.1 問い合わせ方法

- ① E-mail のみでの対応とする。
- ② 問い合わせ・質問を行う場合、艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きで 行うこと。
※問い合わせ・質問の内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

37.2 問い合わせ先

- ① 質問 受付 : mikomoto@misaki-ocean.jp
- ② 回答 WEB サイト : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/2026/index.html#miko>

－以上－

神子元島レース委員

付則－１ 神子元島レース 通信規定（携帯電話による通信方法）

目 的	時刻 (JST)	接続方法	通話・報告内容	その他
スタート前の 通話確認	09:15 ～ 09:45	本部⇒各艇	①本部から、接続・ 通話状態を確認。 ②レース艇から、接続・ 通話状態を返答。	接続性、明瞭度等の確認。 ＜呼出方法＞ ①順次呼び出す。 ②２回接続不可時、２台 目の携帯に電話する。
定時 ロールコール 携帯電話接続が 不可の場合、 SMSの利用可。	20:00 06:00	各艇⇒本部	レース艇は下記を報告 ①位置：緯度・経度 ②艇速（対地速度） ③風向 ④風速 ⑤波高 ⑥乗員状況 ⑦艇体状況	＜呼出方法＞ ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備１の順に呼び 出す。 注：報告事項は、定時刻の 情報であり、報告時点ではな い。
神子元島回航の 連絡	神子元島回航後 速やかに行なう	各艇⇒本部	レース艇は下記を報告 ①神子元島灯台を、 MAG0°に確認した 時刻。 ②艇速（対地速度） ③風向 ④風速 ⑤波高 ⑥乗員状況 ⑦艇体状況 ⑧視認できる艇名	＜呼出方法＞ ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備１の順に呼び 出す。
通信確認	適時	本部⇒各艇	確認、依頼、など	各艇に通信状況確認。 （指示する場合もある）
非常時通信	適時	各艇⇒本部	①自艇名 ②位置：緯度・経度 ③艇・乗員の状況 ④依頼事項 ⑤艇速・風速・風向 ⑥視認できる艇名	＜呼出方法＞ すべての通信手段により、連絡 を行うこと。
フィニッシュ 予告連絡	相模網代崎沖灯 浮標まで残航５マ イルにて速やかに行 うこと	当該艇 ⇒本部	①自艇名 ②艇速 xx ノット	＜呼出方法＞ ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備１の順に呼び 出す。

本部電話番号（変更がある場合は公式掲示板で通知する）

本部 ： 090-2341-3140 ／ 予備１ ： 080-3120-5681

緊急時 ： 海上保安庁関係：118 番 ／ 第三管区海上保安本部：045-211-1118

定時ロールコール：SMS利用時の送信形態

以下の順番に記録値を送信すること。

- ①セール番号(半角スペース)①位置：緯度(度分)(半角スペース)経度(度分) (半角スペース)
- ②艇速(対地速度)(半角スペース)③風向(半角スペース)④風速(半角スペース)⑤波高(半角スペース)
- ⑥乗員状況(半角スペース)⑦艇体状況

＜送信文 例＞

セール番号1234の艇が、①から⑦までの情報を送信する場合。

セール番号1234①位置：緯度(度分) 34°34'経度(度分)138°59'、②艇速（対地速度）6.5kt、
③風向 40°④風速 12.5kt、⑤波高 1.5m、⑥乗員状況 Ok 、⑦艇体状況 OK

SMSでは以下の様に情報を送信してください。

1234 3434 13859 65 040 125 15 OK OK

* 携帯電話の義務事項

スタート1時間前(9月26日 09：00) からフィニッシュ1時間後まで、常時通話可能な状態を維持すること。

* 国際VHFの運用

1. スタート後より、フィニッシュ後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のため VHF16chを聴取常時受信可能な状態すること。
2. 緊急時、本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
3. VHF16ch は、呼出しチャンネルであるため通話は船間波(72ch、73ch、69ch)に変波して行うこと。

* リタイアした艇の義務事項

1. ホームポートに帰着するまで、携帯電話およびVHF は常時通話可能な状態を維持すること。
(レース本部より安全の観点から連絡する場合がある)
2. ホームポートに帰着後または最寄りの港に着岸後、速やかにレース本部に帰着連絡すること。

－以上－

神子元島レース委員会